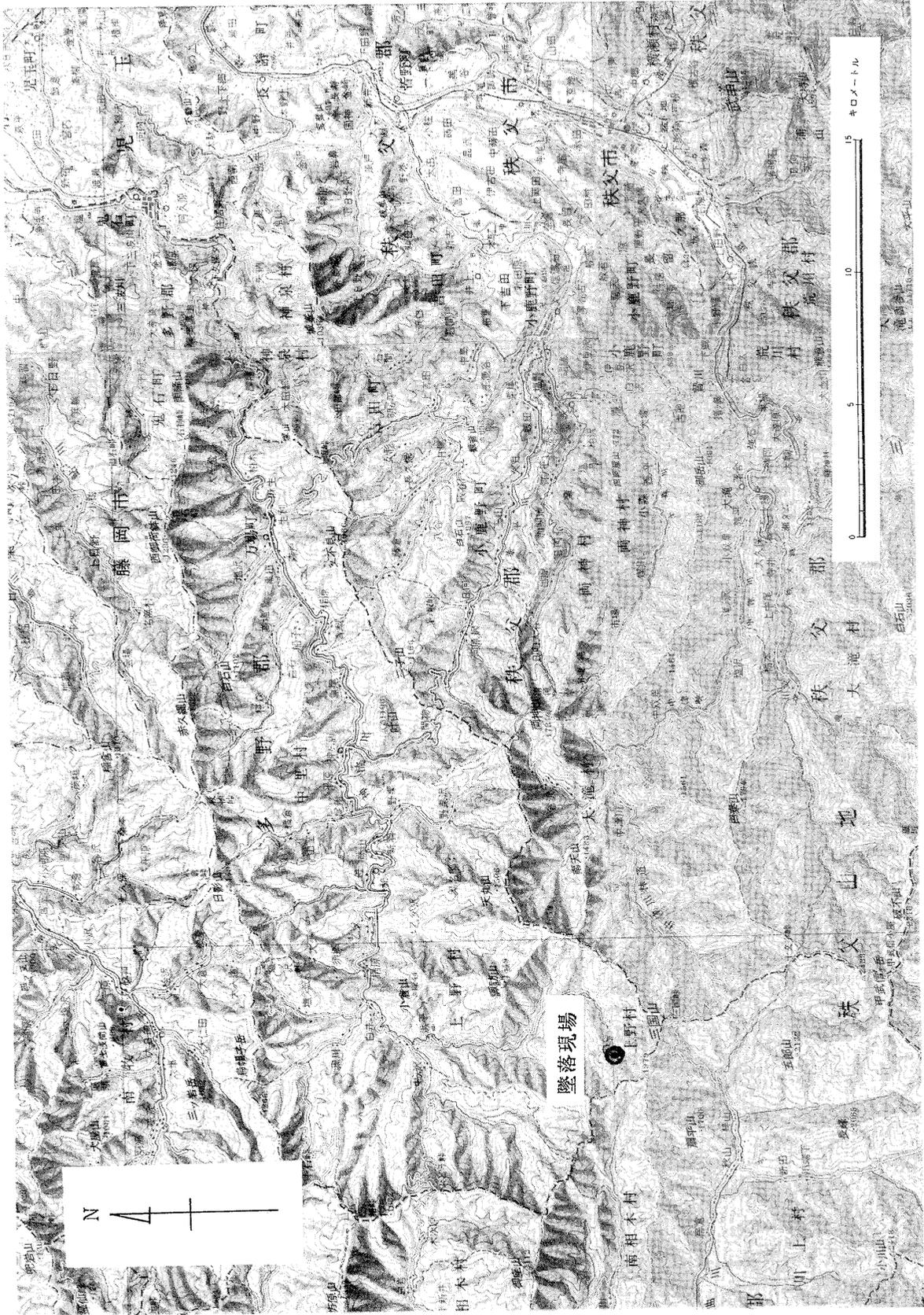


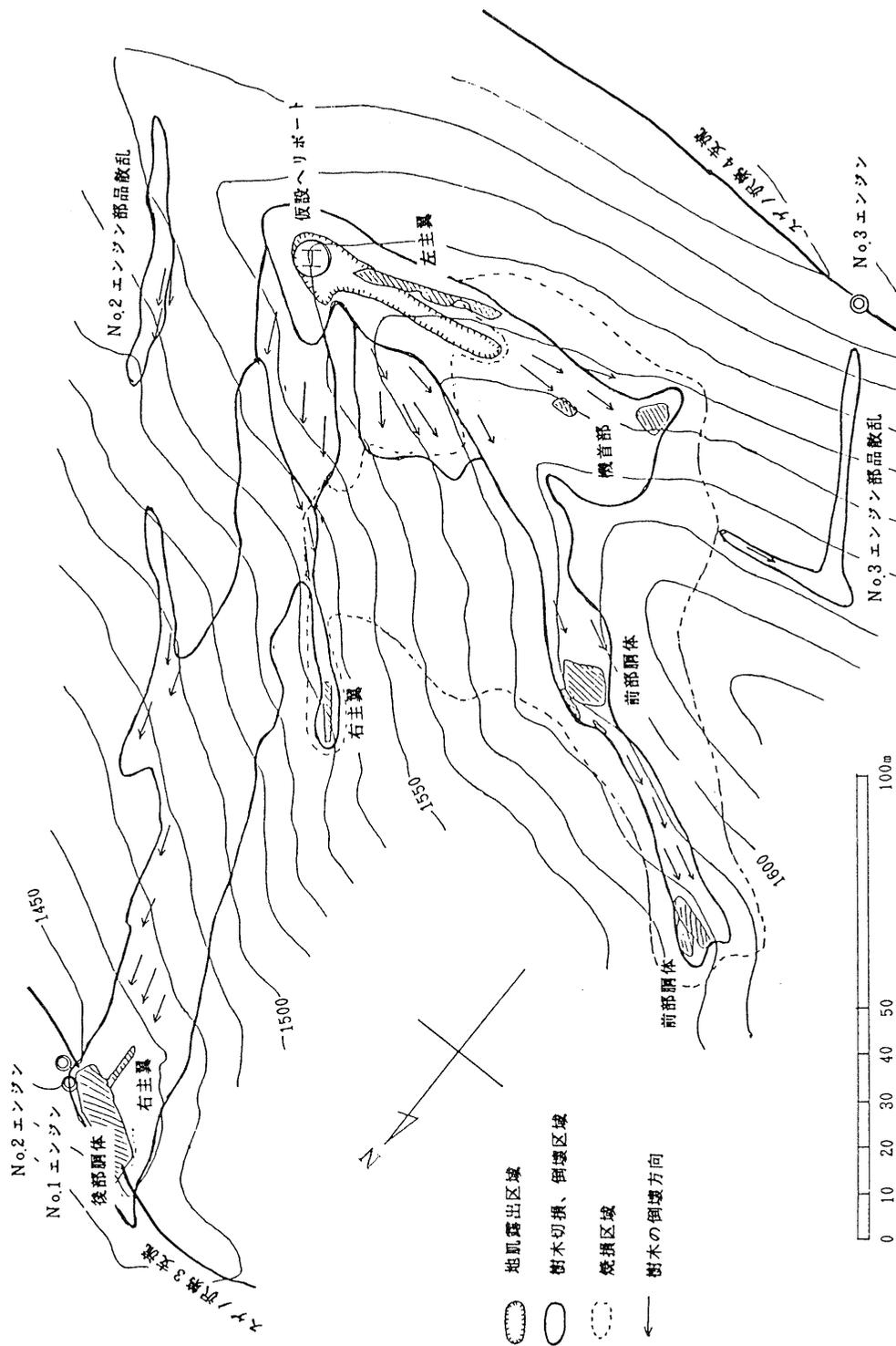
付

図

付図-2 墜落現場付近図

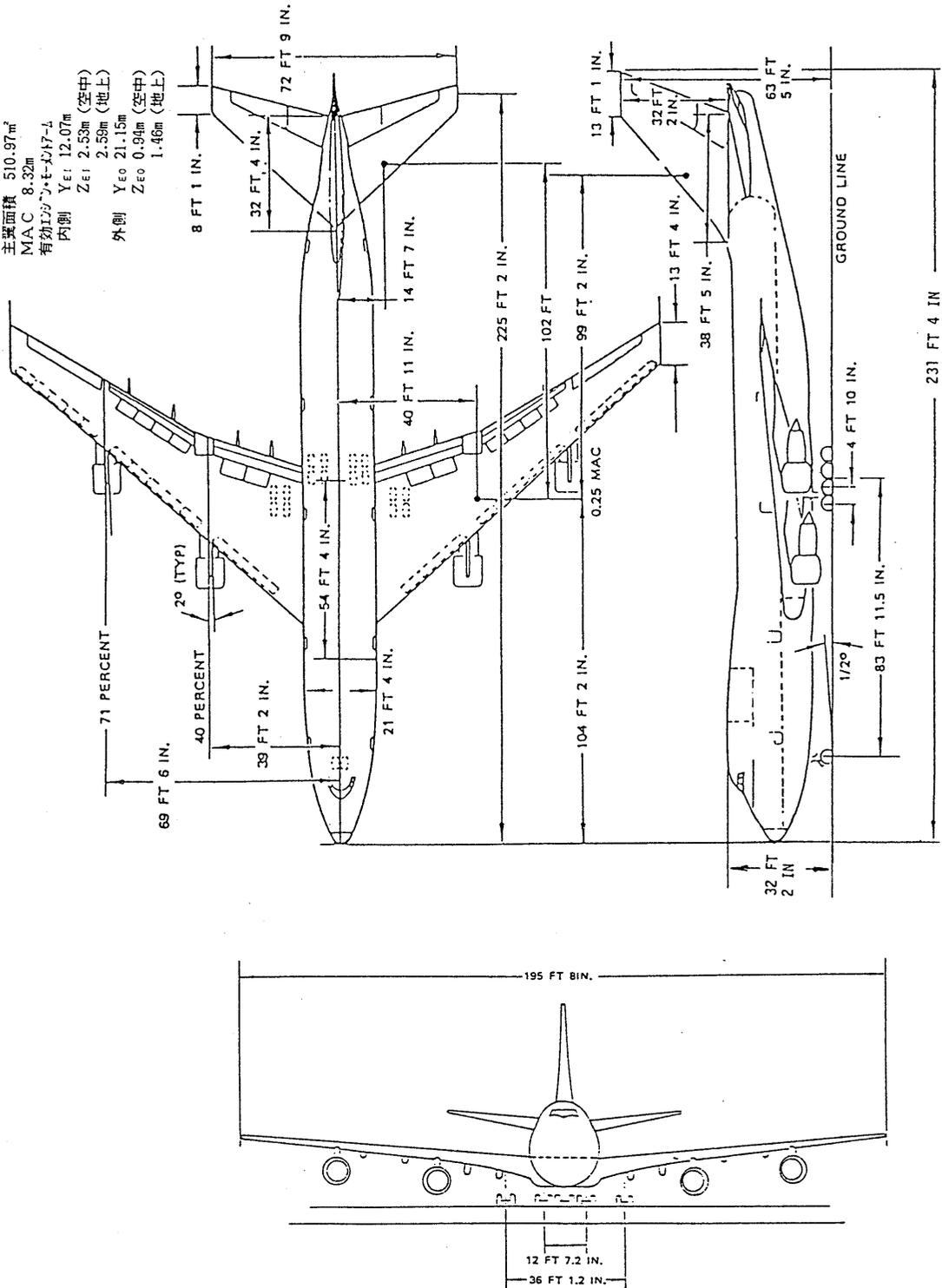


付図-3 墜落現場の状況

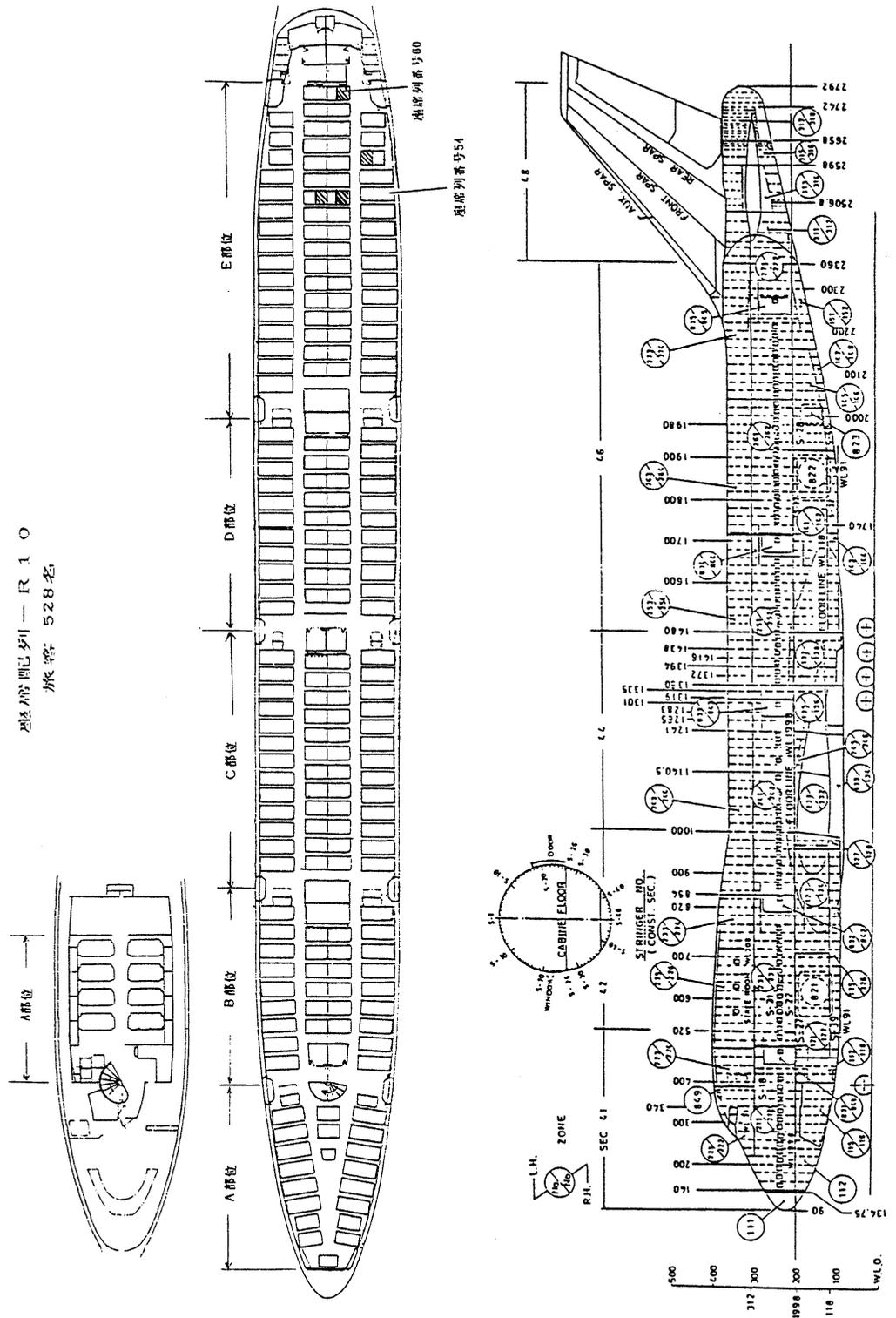


付図-4 ボーイング式747SR-100型三面図

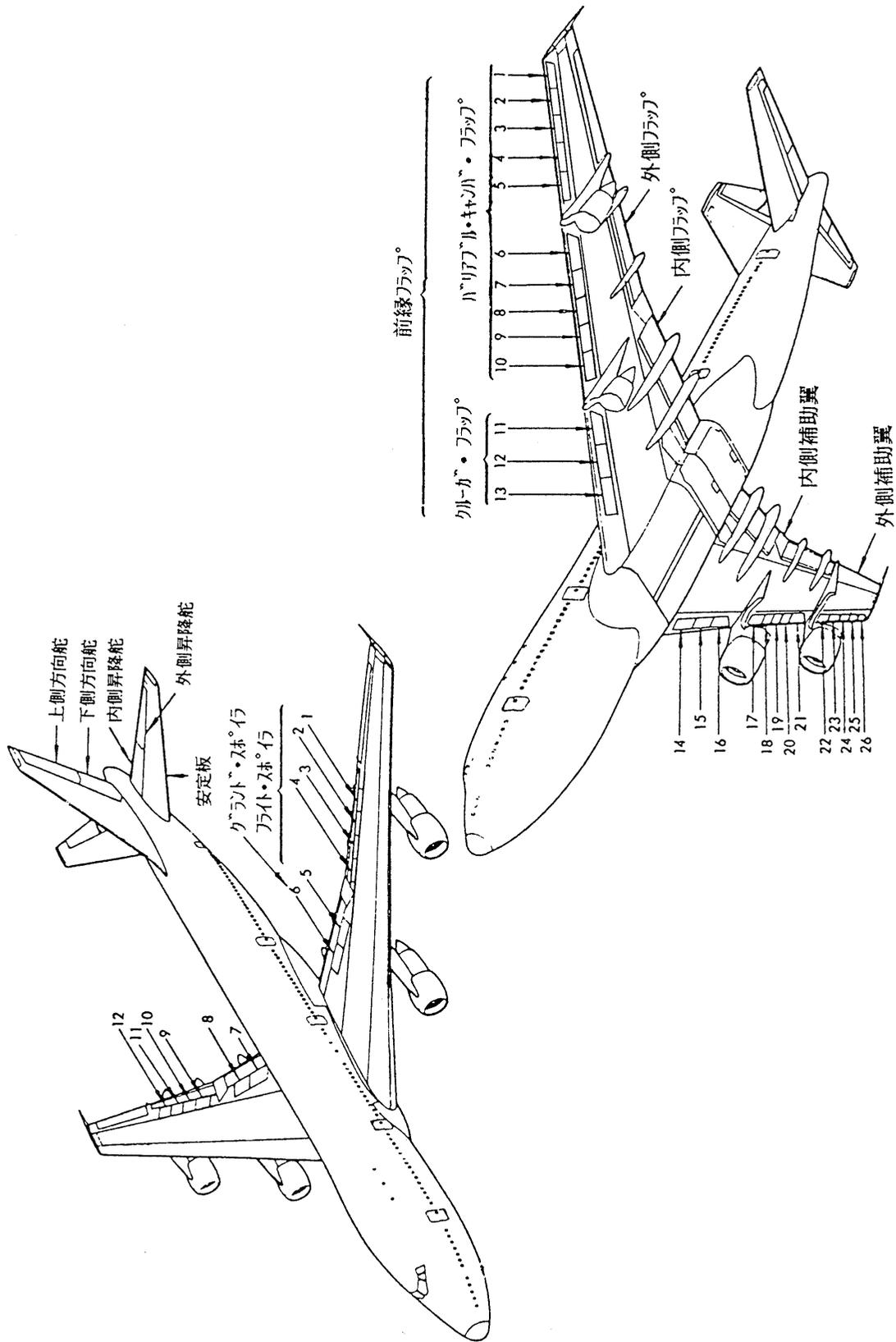
主翼後退角 37.5° / 25% chord
 主翼面積 510.97m²
 MAC 8.32m
 有効翼幅 Y_{eff} 12.07m
 内側 Y_{eo} 21.15m (空中)
 2.53m (地上)
 外側 Y_{eo} 0.94m (空中)
 1.46m (地上)



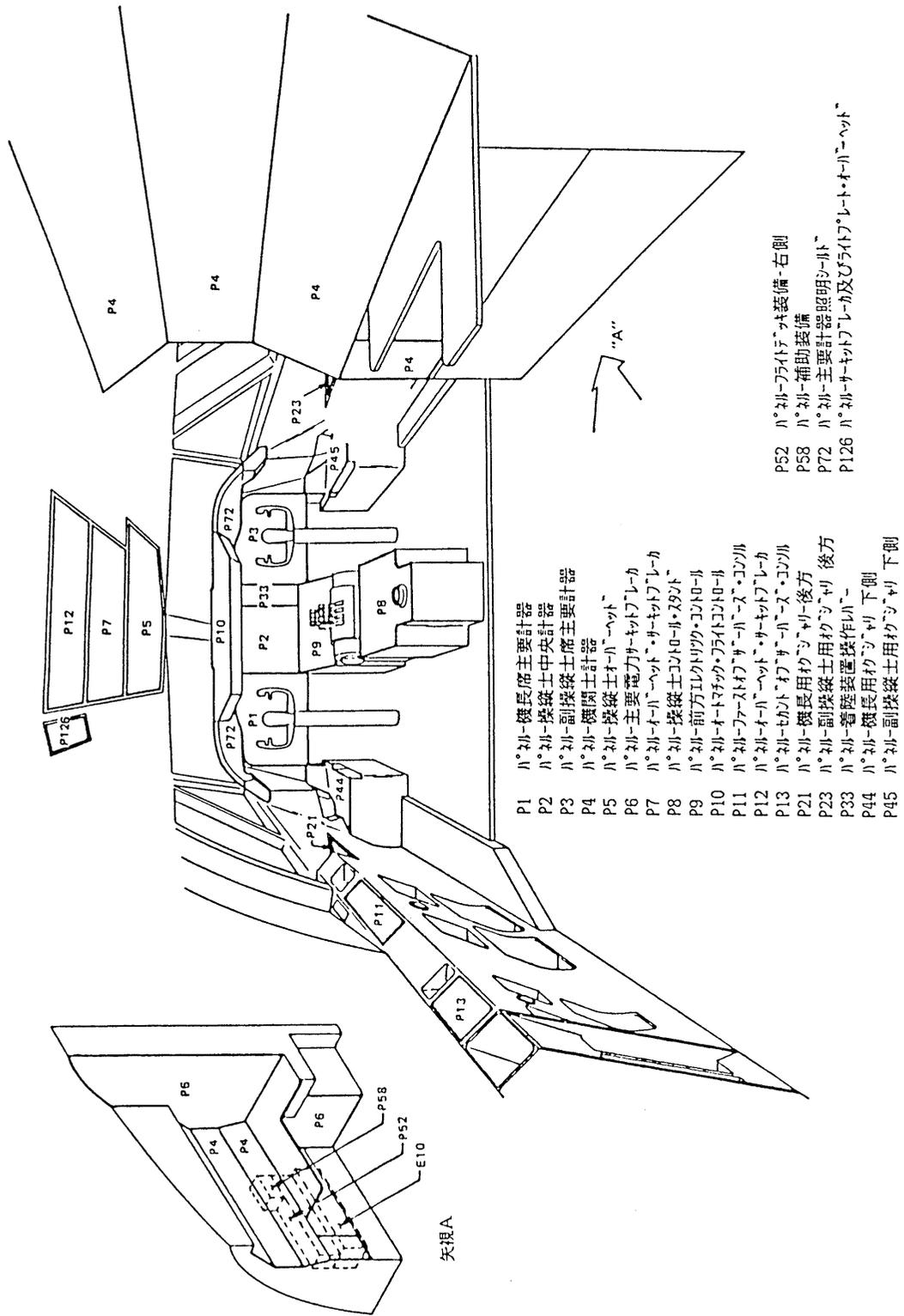
付図—5 胴体ステーション及び座席配置図



付図—8 動翼・フラップの名称



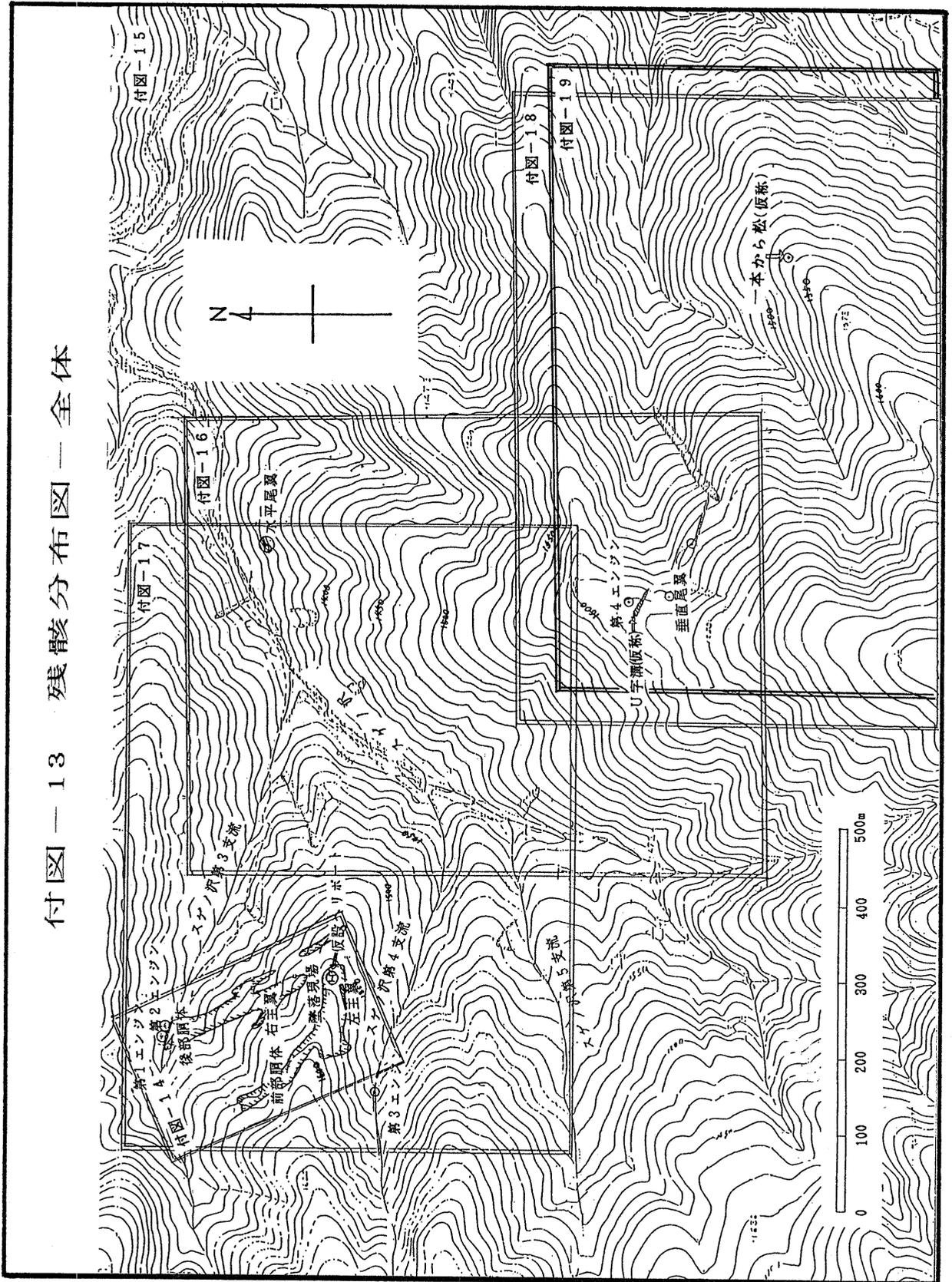
付図-12 操縦室パネル配置図



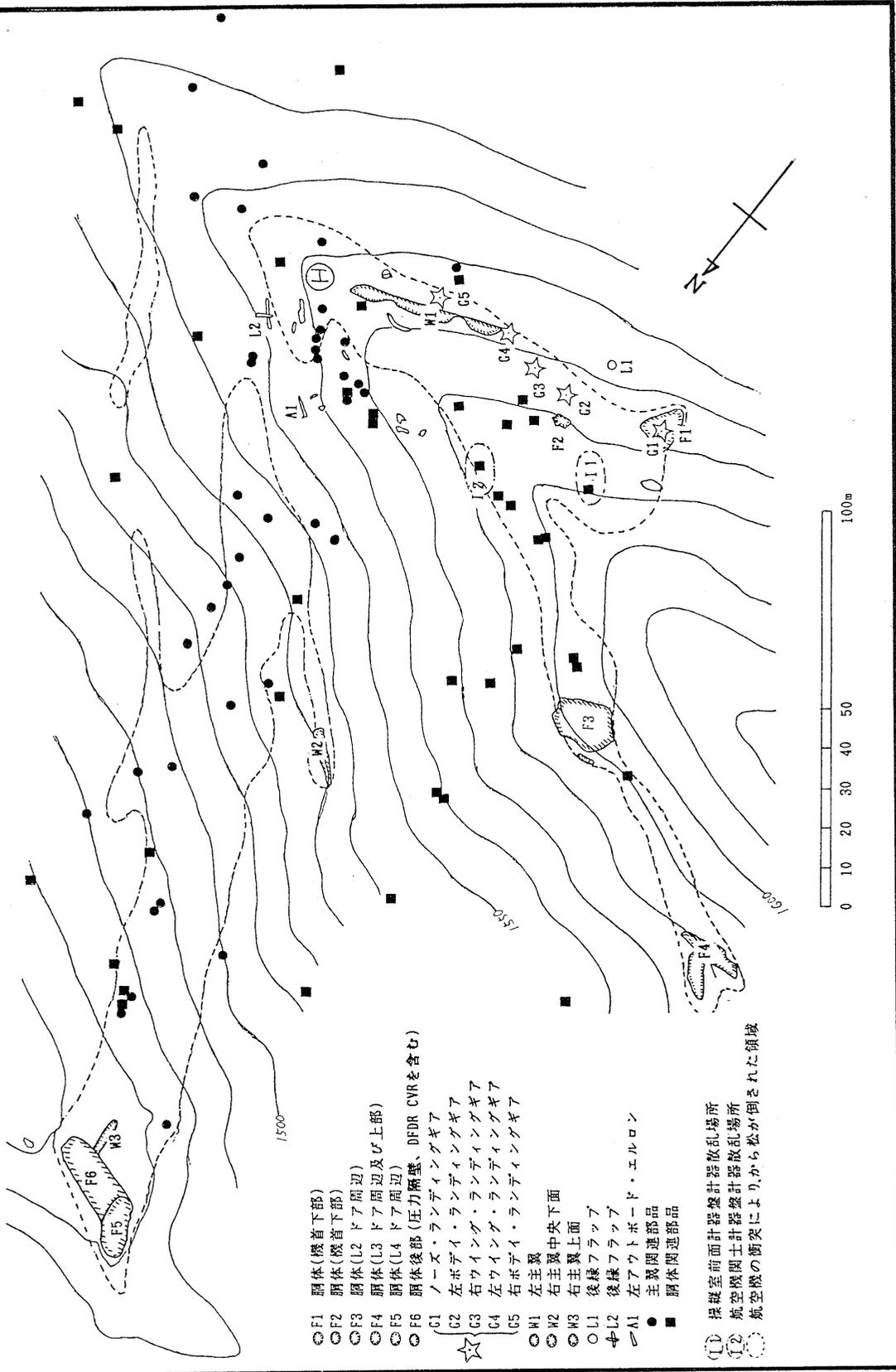
- P1 操縦長席主要計器
- P2 操縦士中央計器
- P3 副操縦士席主要計器
- P4 機関士計器
- P5 操縦士オーディオ
- P6 主要電力スイッチレカ
- P7 オーディオヘッド・スイッチレカ
- P8 操縦士コントロール・システム
- P9 前方エレトリック・コントロール
- P10 オートマチック・フライトコントロール
- P11 フォア・ストロウ・パネ・システム
- P12 オーディオヘッド・スイッチレカ
- P13 セカンド・ストロウ・パネ・システム
- P21 機長用インジケータ・後方
- P23 副操縦士用インジケータ・後方
- P33 着陸装置操作パネル
- P44 機長用インジケータ・下側
- P45 副操縦士用インジケータ・下側

- P52 無線機・右側
- P58 補助装置
- P72 主要計器照明システム
- P126 無線機・レカ及びフライト・オーディオ・ヘッド

付図-13 残骸分布図-全体

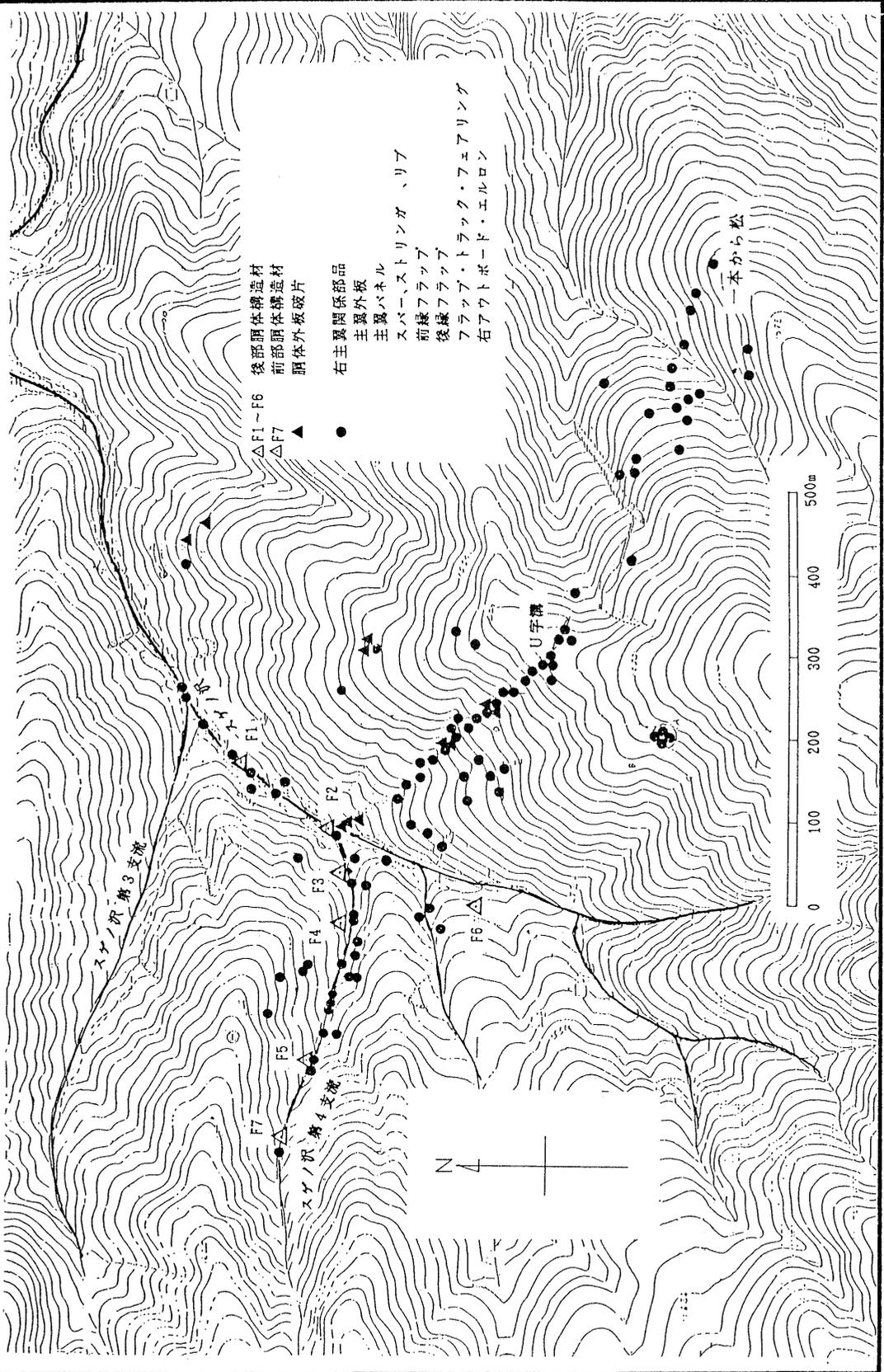


付図-14 残骸分布図-墜落地点

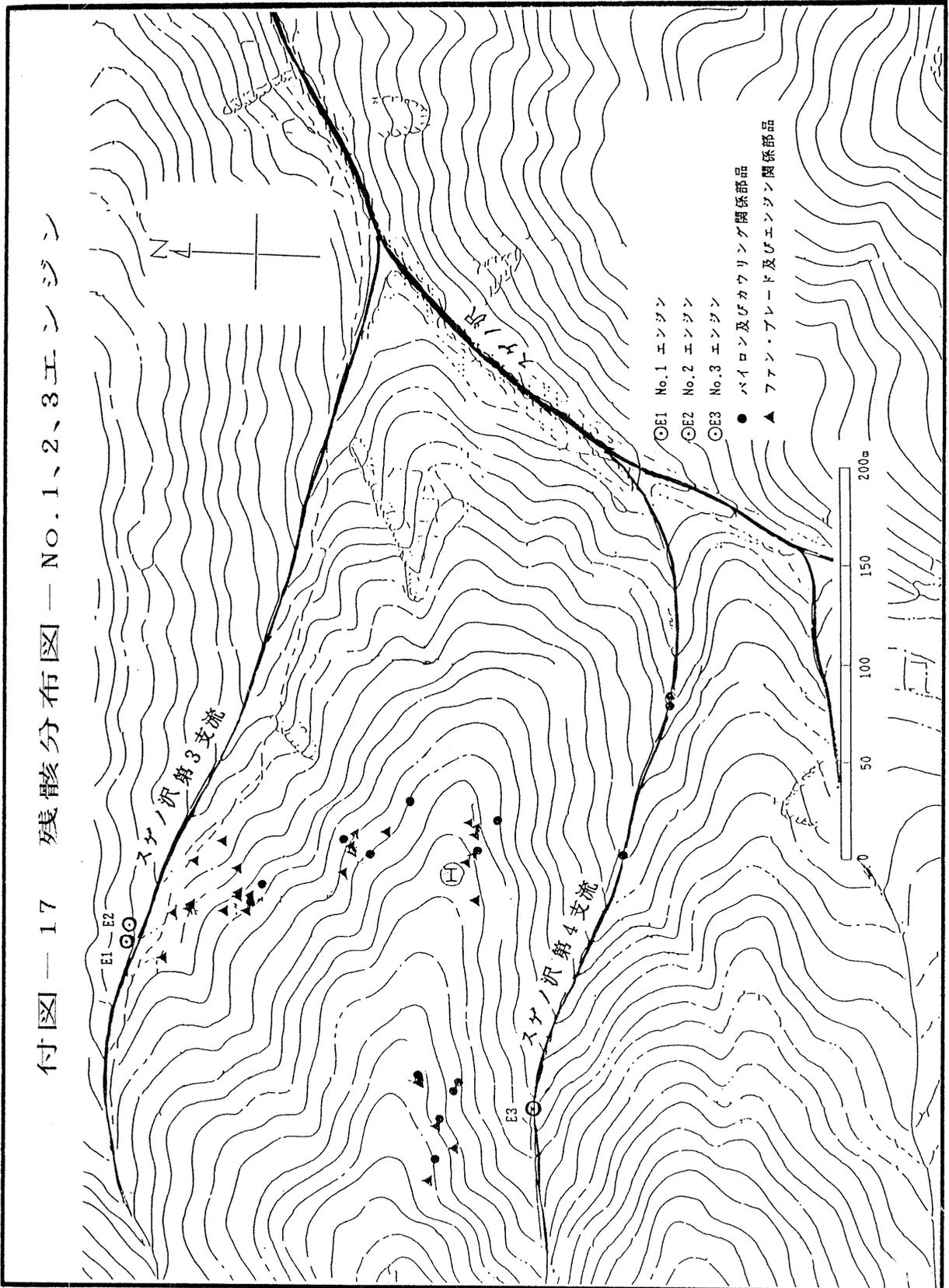


- F1 胴体(機首下部)
 - F2 胴体(機首下部)
 - F3 胴体(L2 ドア周辺)
 - F4 胴体(L3 ドア周辺及び上部)
 - F5 胴体(L4 ドア周辺)
 - F6 胴体後部(圧力隔壁、DFDR CVRを含む)
 - ☆ G1 ノーズ・ランディングギア
 - ☆ G2 左ボデイ・ランディングギア
 - ☆ G3 右ウイング・ランディングギア
 - ☆ G4 左ウイング・ランディングギア
 - ☆ G5 右ボデイ・ランディングギア
 - W1 左主翼
 - W2 右主翼中央下面
 - W3 右主翼上面
 - L1 後縁フラップ
 - L2 後縁フラップ
 - A1 左アウトボード・エルロン
 - 主翼関連部品
 - 胴体関連部品
- (1) 操縦室前面計器盤計器散乱場所
 (2) 航空機関土計器盤計器散乱場所
 (3) 航空機の衝突により、から松が倒された領域

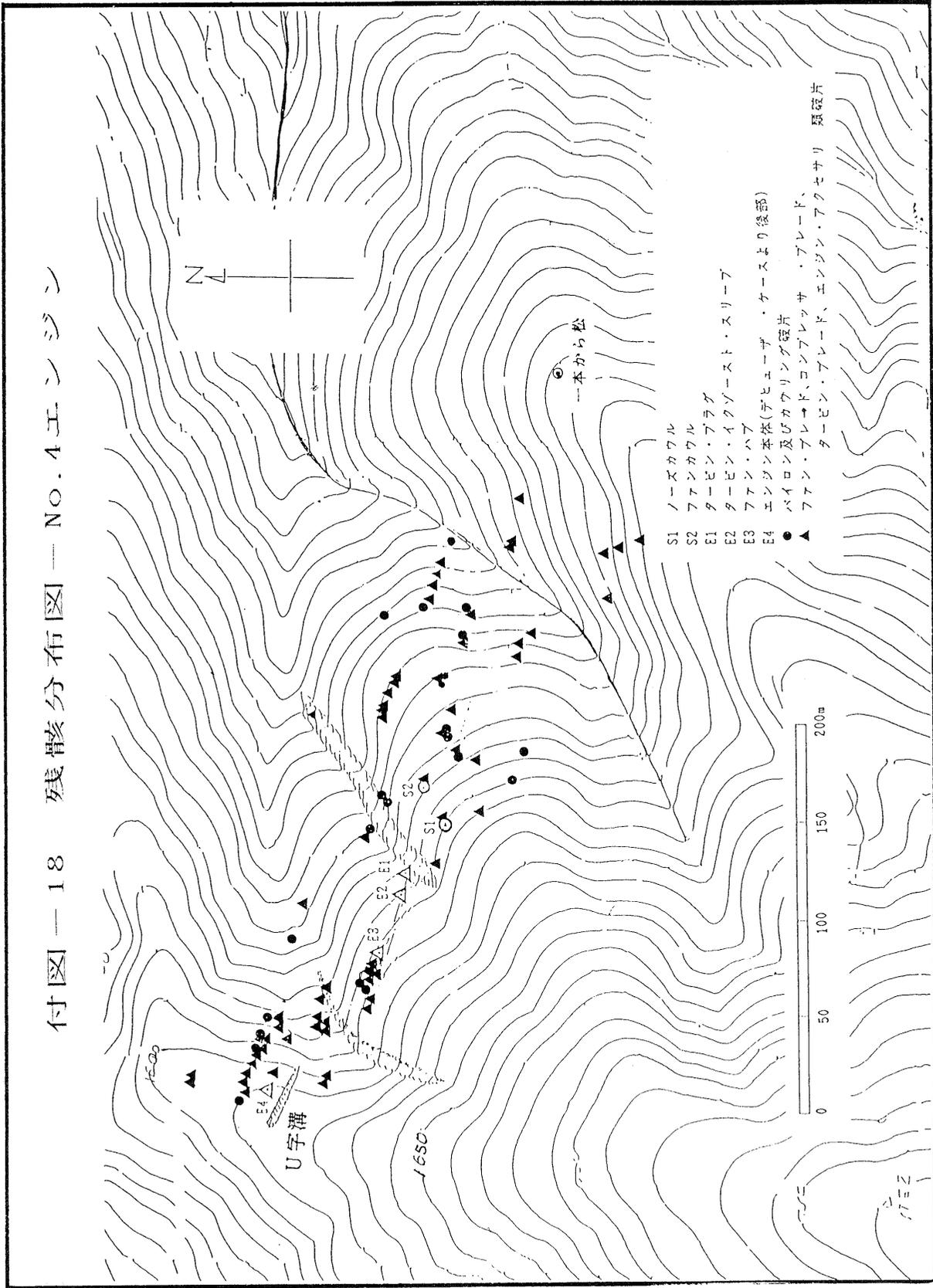
付図-15 残骸分布図-右主翼



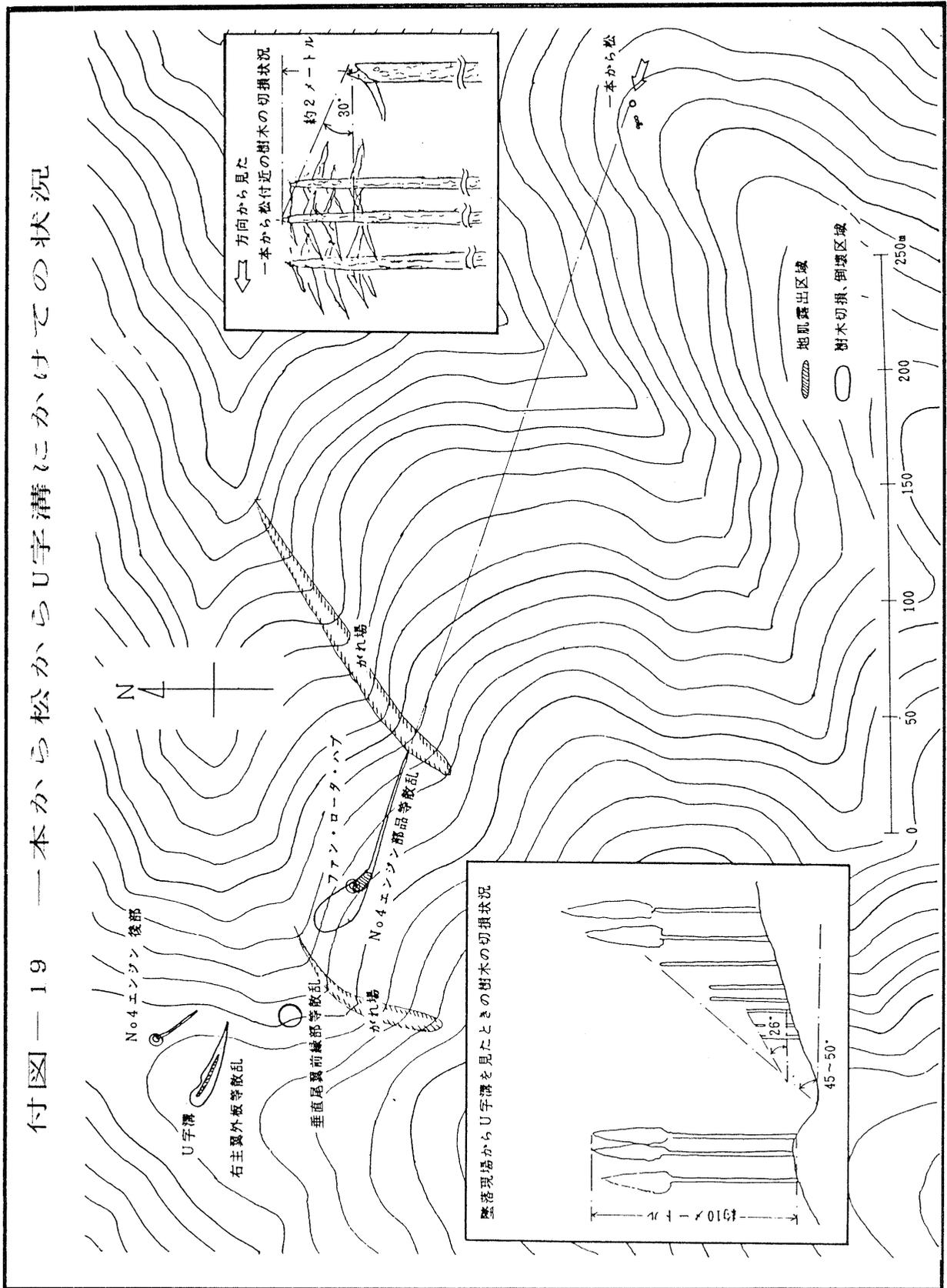
付図 - 17 残骸分布図 - No.1、2、3エンジン



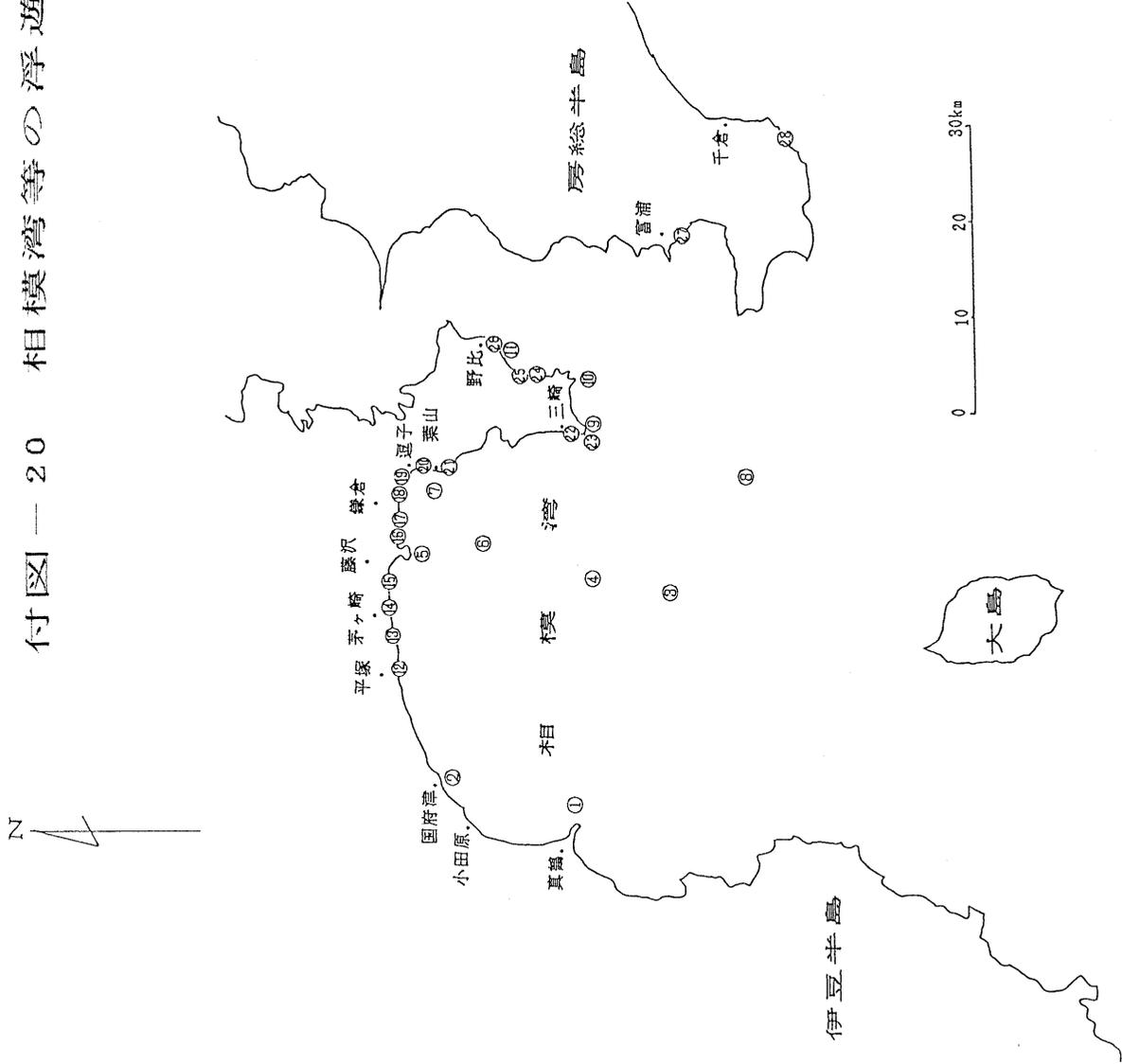
付図-18 残骸分布図—No.4エンジン



付図-19 一本から松からU字溝にかけての状況



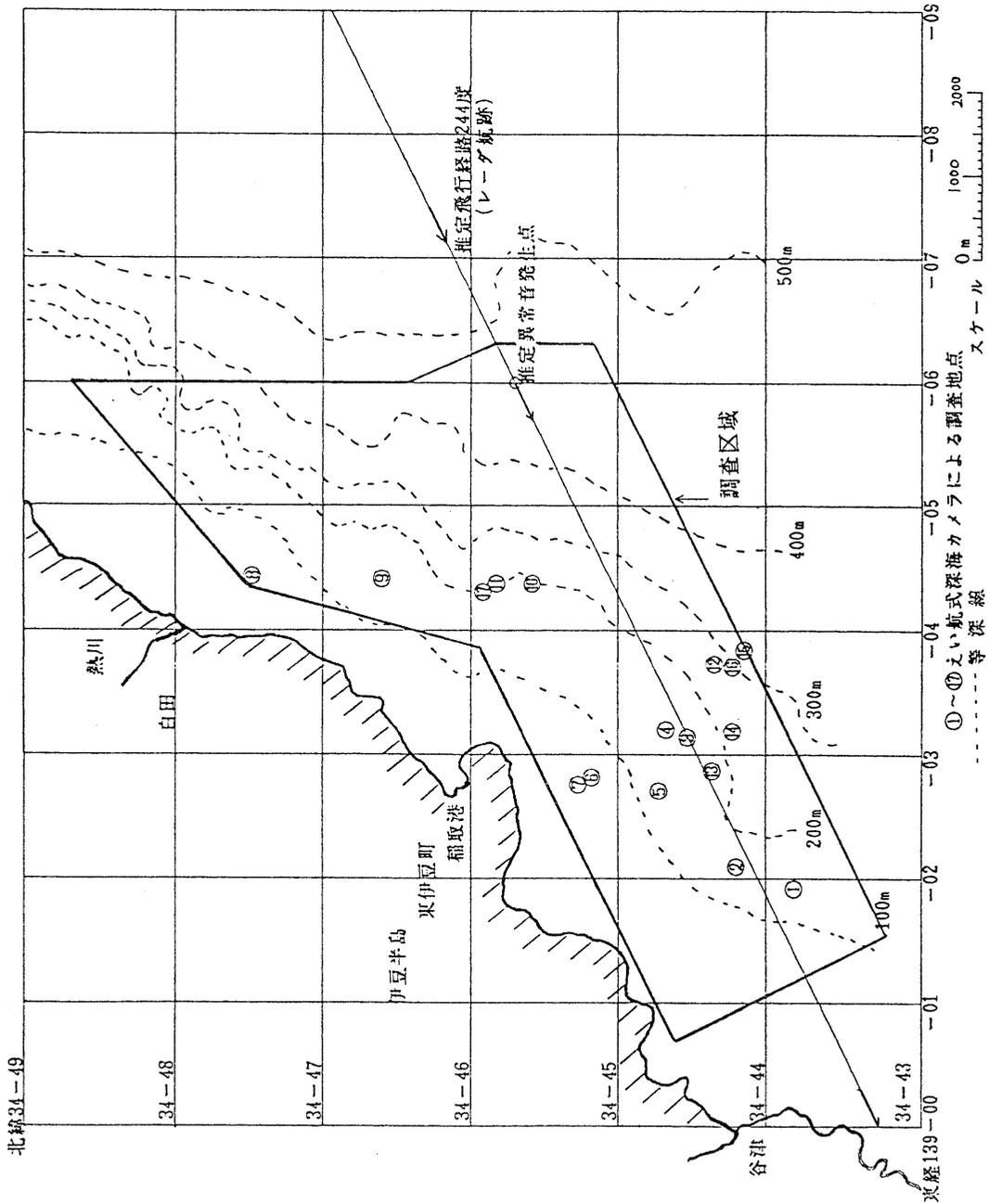
付図-20 相模湾等の浮遊残骸揚収場所図



番号	品名	個数
①	下方ラダー左側外板の一部破片	* 1
②	垂直尾翼ヒンジカバーパネルの破片	* 1
③	垂直安定板前縁の上半部	* 1
④	APU空気取り入れダクト	* 1
⑤	APU空気取り入れドア	* 1
⑥	垂直安定板前縁外板の一部破片	* 1
⑦	垂直尾翼ハニカム破片	1
⑧	下方ラダーの上部破片	* 1
⑨	垂直尾翼ハニカム破片	1
⑩	"	1
⑪	"	1
⑫	垂直尾翼ヒンジカバーパネルの破片	* 2
⑬	垂直尾翼ハニカム破片	2
⑭	"	1
⑮	"	1
⑯	上方ラダー左側外板の一部等の破片	* 9
⑰	下方ラダー後縁の一部等の破片	* 4
⑱	垂直尾翼ハニカム破片	1
⑲	"	3
⑳	"	1
㉑	"	1
㉒	"	1
㉓	垂直安定板右側外板の一部等の破片	* 2
㉔	垂直尾翼ヒンジカバーパネルの一部等の破片	* 5
㉕	垂直尾翼ハニカム破片	2
㉖	"	5
㉗	"	1
㉘	垂直安定板前縁上部左側外板の一部破片	* 1

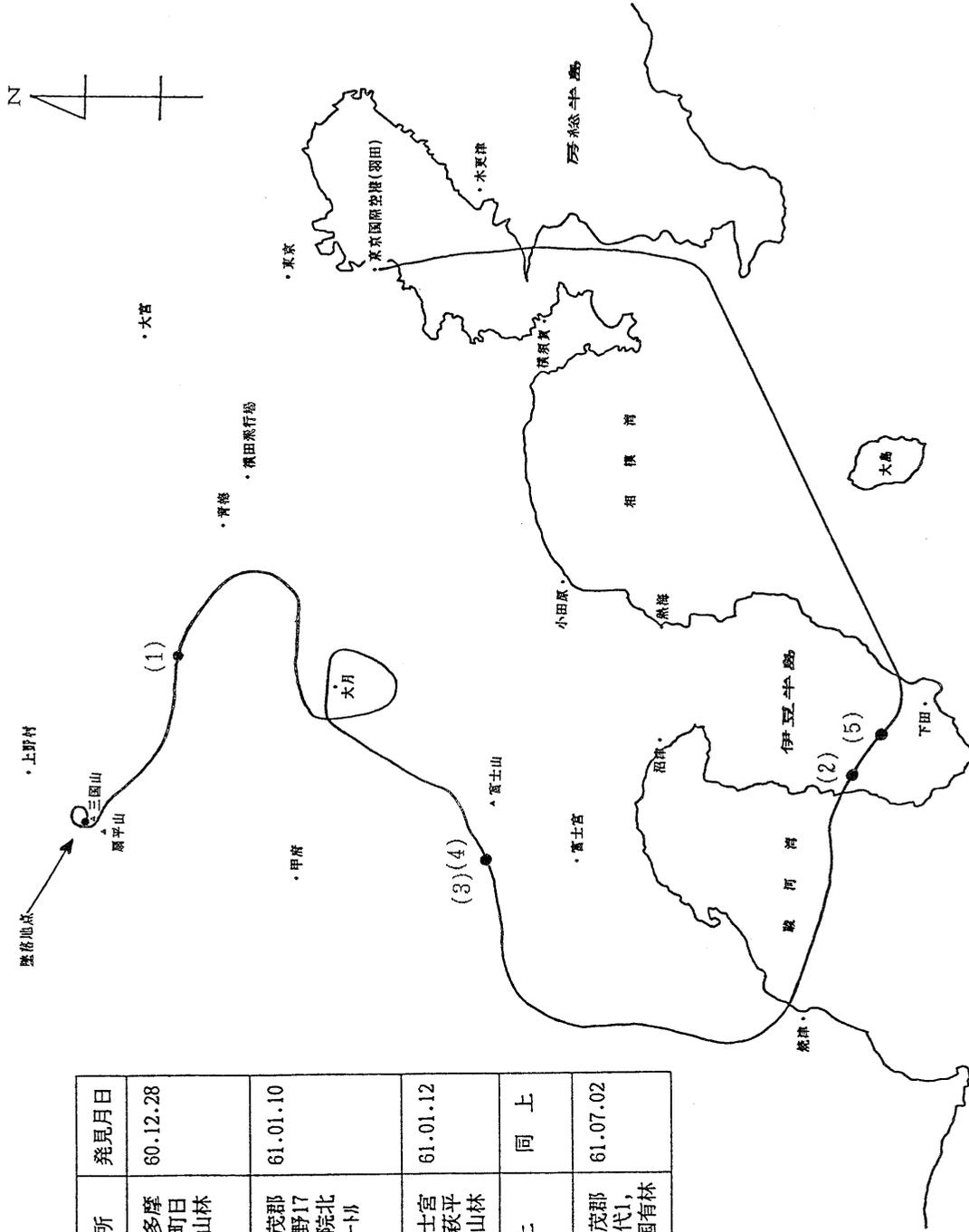
* 機体取付位置が確認されたもの

付図-21 相模湾海底調査区域



NO	度	分	秒
①	34	43	49N
	139	01	54E
②	34	44	15N
	139	02	07E
③	34	44	35N
	139	03	10E
④	34	44	44N
	139	03	14E
⑤	34	44	43N
	139	02	37E
⑥	34	45	11N
	139	02	56E
⑦	34	45	19N
	139	02	51E
⑧	34	47	30N
	139	04	30E
⑨	34	46	35N
	139	04	30E
⑩	34	45	39N
	139	04	21E
⑪	34	45	54N
	139	04	23E
⑫	34	44	21N
	139	03	44E
⑬	34	44	27N
	139	02	53E
⑭	34	44	11N
	139	03	13E
⑮	34	44	09N
	139	03	31E
⑯	34	44	09N
	139	08	41E
⑰	34	45	58N
	139	04	22E

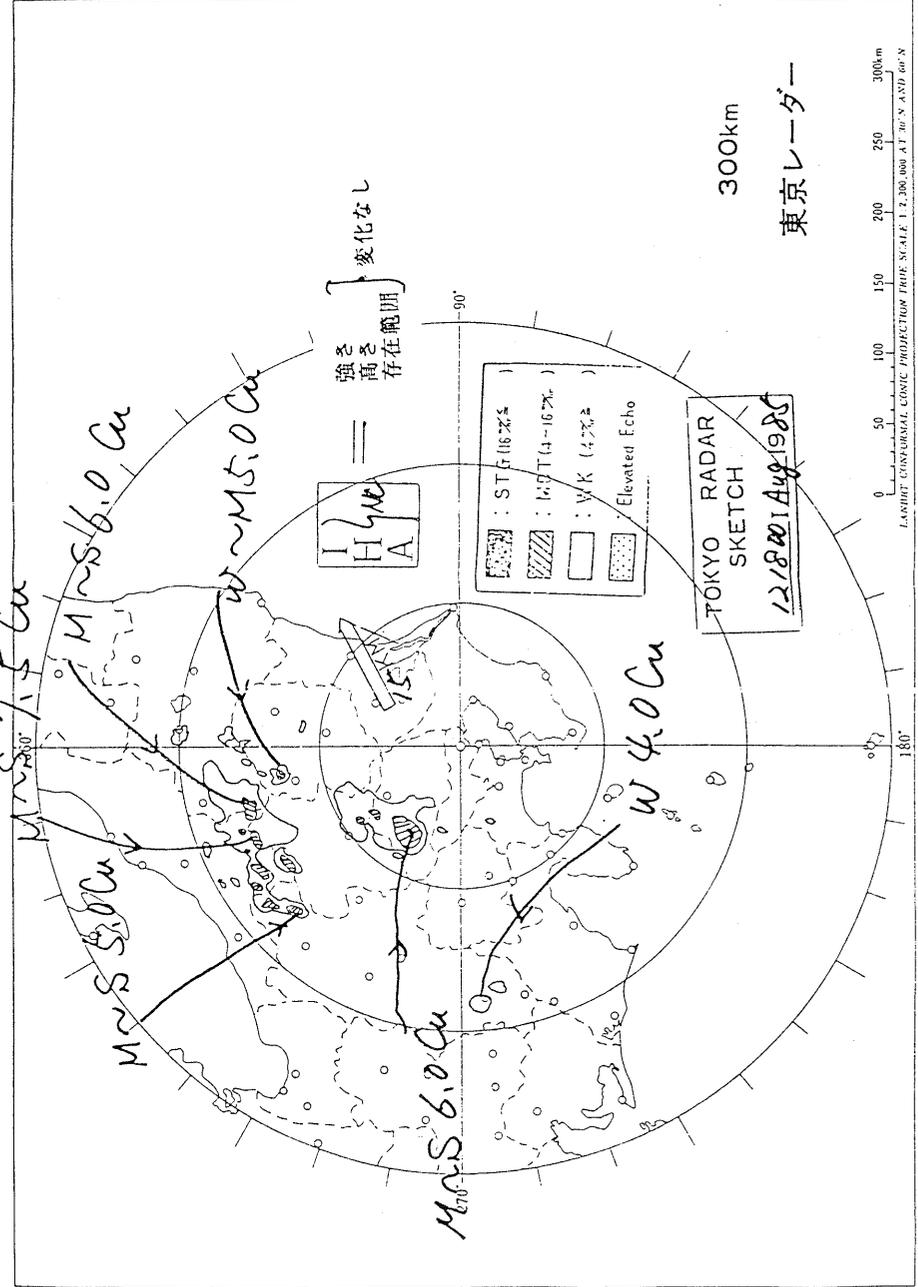
付図-22 飛行経路下(陸地)から回収された残骸



部 品 名	発見場所	発見月日
(1)垂直安定板 トリクホックス左 後下方の一部	東京都西多摩 郡奥多摩町日 原字一原山林 内	60.12.28
(2)ジール・リテーナの 一部(垂直安 定板右下最後 部)	静岡県賀茂郡 松崎町門野17 3-1 宝蔵院北 方約1キロメートル の山林	61.01.10
(3)ジール・リテーナの 一部(同左下 最後部)	静岡県富士宮 市人穴東萩平 675の1先山林	61.01.12
(4)(3)から分離 したコン・ジール	同 上	同 上
(5)垂直尾翼トリク ホックス・ストリカ の一部	静岡県賀茂郡 松崎町池代1, 420池代国有林	61.07.02

付図 23 東京レーダー・スケッチ図(18時)

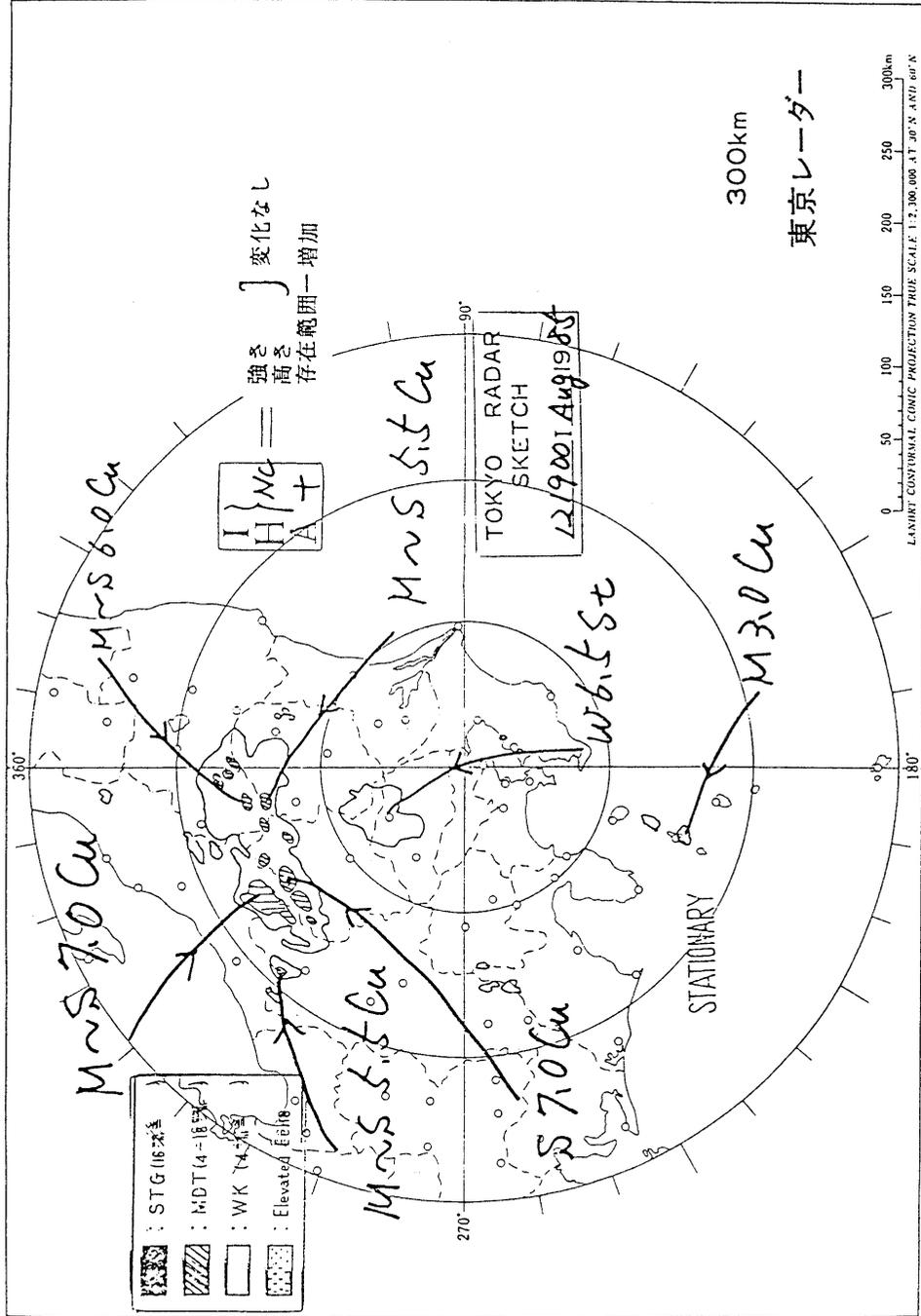
(記入の説明)
 M~S 5.0 Cu = 中程度 ~ 強い対流性エコー、高さ5.0キロメートル
 M~S 7.5 Cu = 中程度 ~ 強い対流性エコー、高さ7.5キロメートル
 M~S 6.0 Cu = 中程度 ~ 強い対流性エコー、高さ6.0キロメートル
 W~M 5.0 Cu = 弱い ~ 中程度の対流性エコー、高さ5.0キロメートル
 M~S 6.0 Cu = 中程度 ~ 強い対流性エコー、高さ6.0キロメートル
 W 4.0 Cu = 弱い対流性エコー、高さ4.0キロメートル



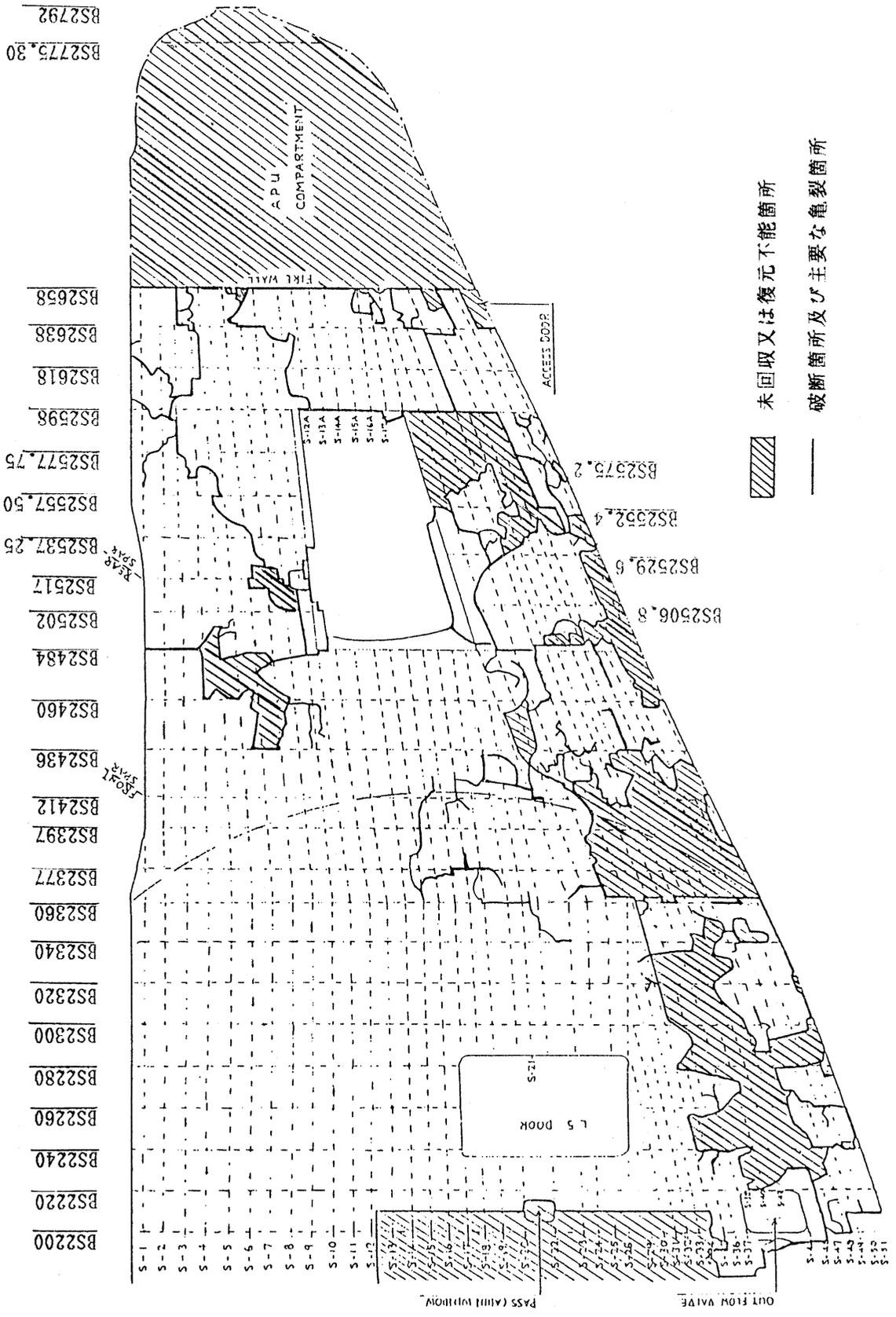
付図-24 東京レーダー・スケッチ図(19時)

(記入の説明)

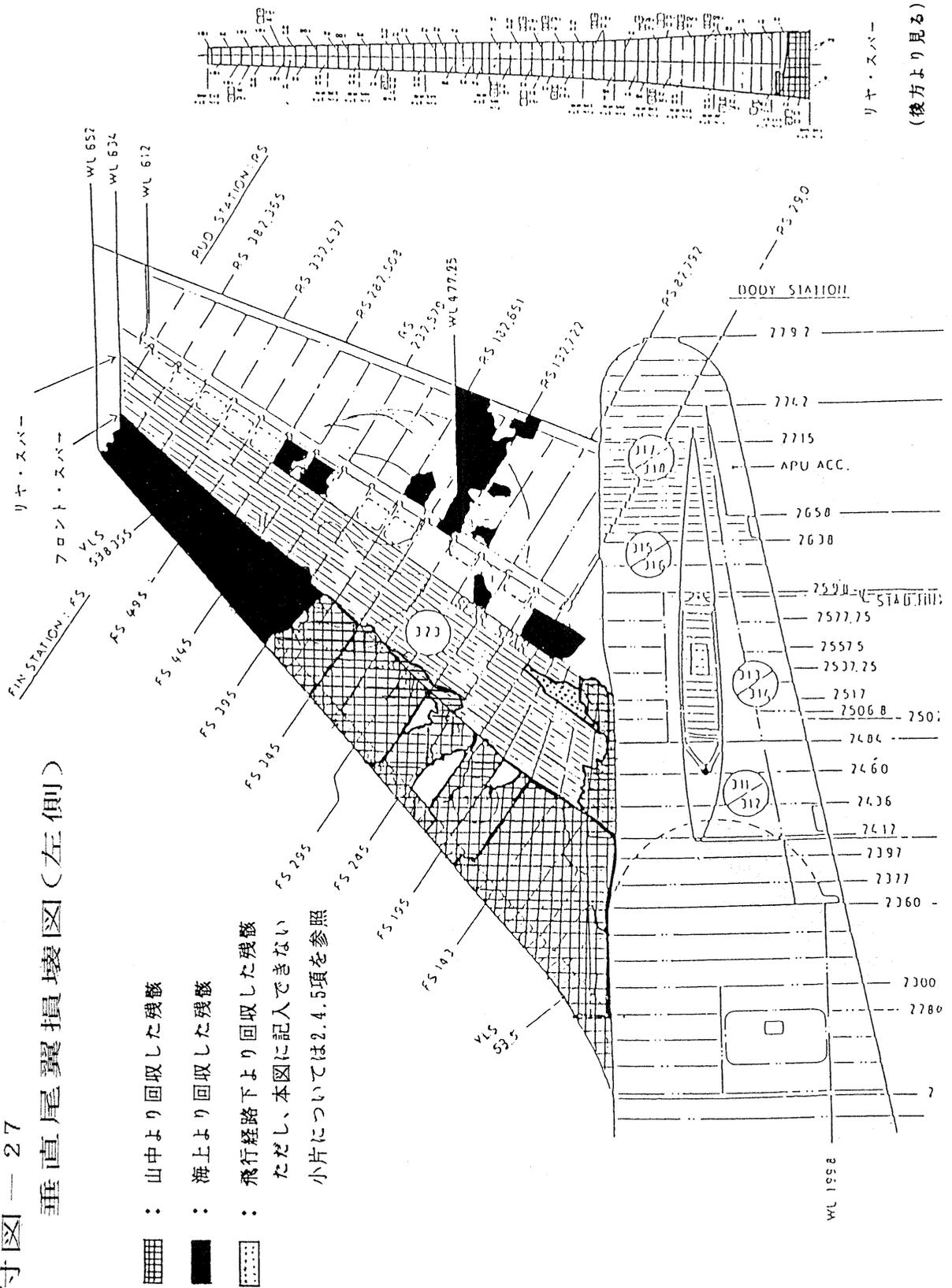
- S 7.0 Cu = 強い対流性エコー、高さ7.0キロメートル
- M ~ S 5.5 Cu = 中程度~強い対流性エコー、高さ5.5キロメートル
- M ~ S 7.0 Cu = 中程度~強い対流性エコー、高さ7.0キロメートル
- M ~ S 6.0 Cu = 中程度~強い対流性エコー、高さ6.0キロメートル
- M ~ S 5.5 Cu = 中程度~強い対流性エコー、高さ5.5キロメートル
- W 6.5 St = 弱い層状のエコー、高さ6.5キロメートル
- M 3.0 Cu = 中程度の対流性エコー、高さ3.0キロメートル



付図 - 25 後部胴体損壊図(左側展開図)



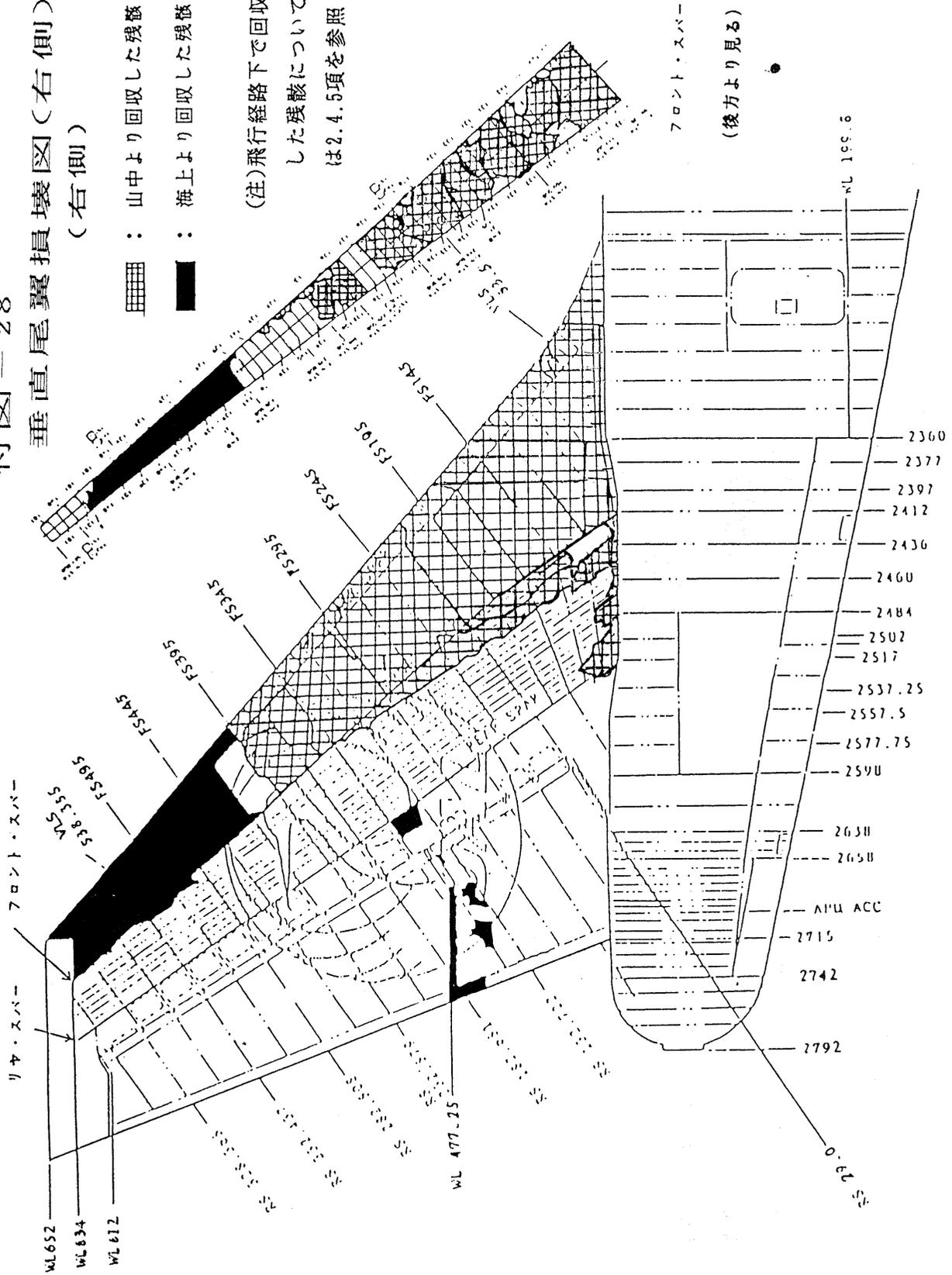
付図 - 27
垂直尾翼損壊図(左側)



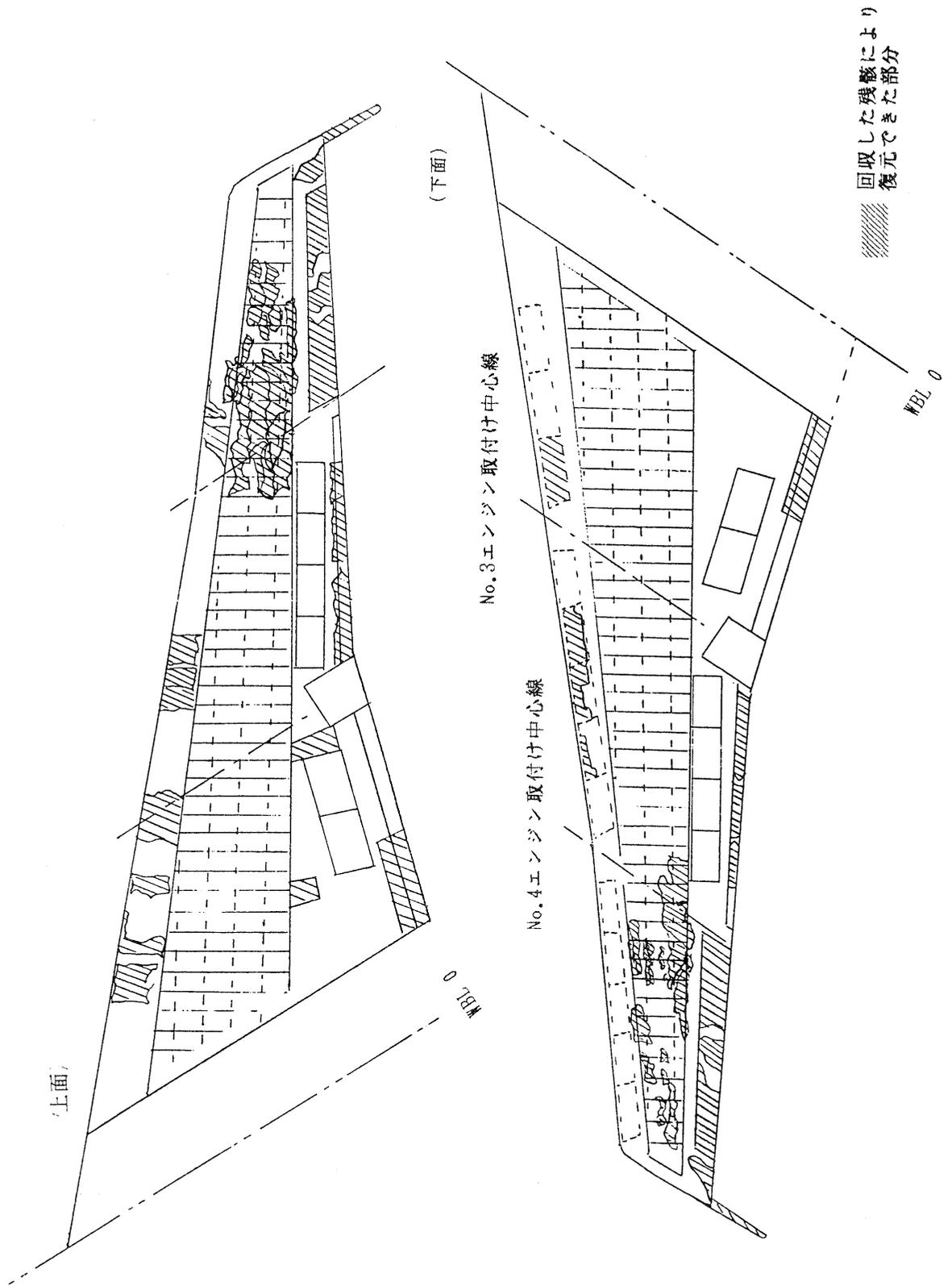
- ☐ : 山中より回収した残骸
- : 海上より回収した残骸
- ⋯ : 飛行経路下より回収した残骸
ただし、本図に記入できない
小片については2.4.5項を参照

付図-28

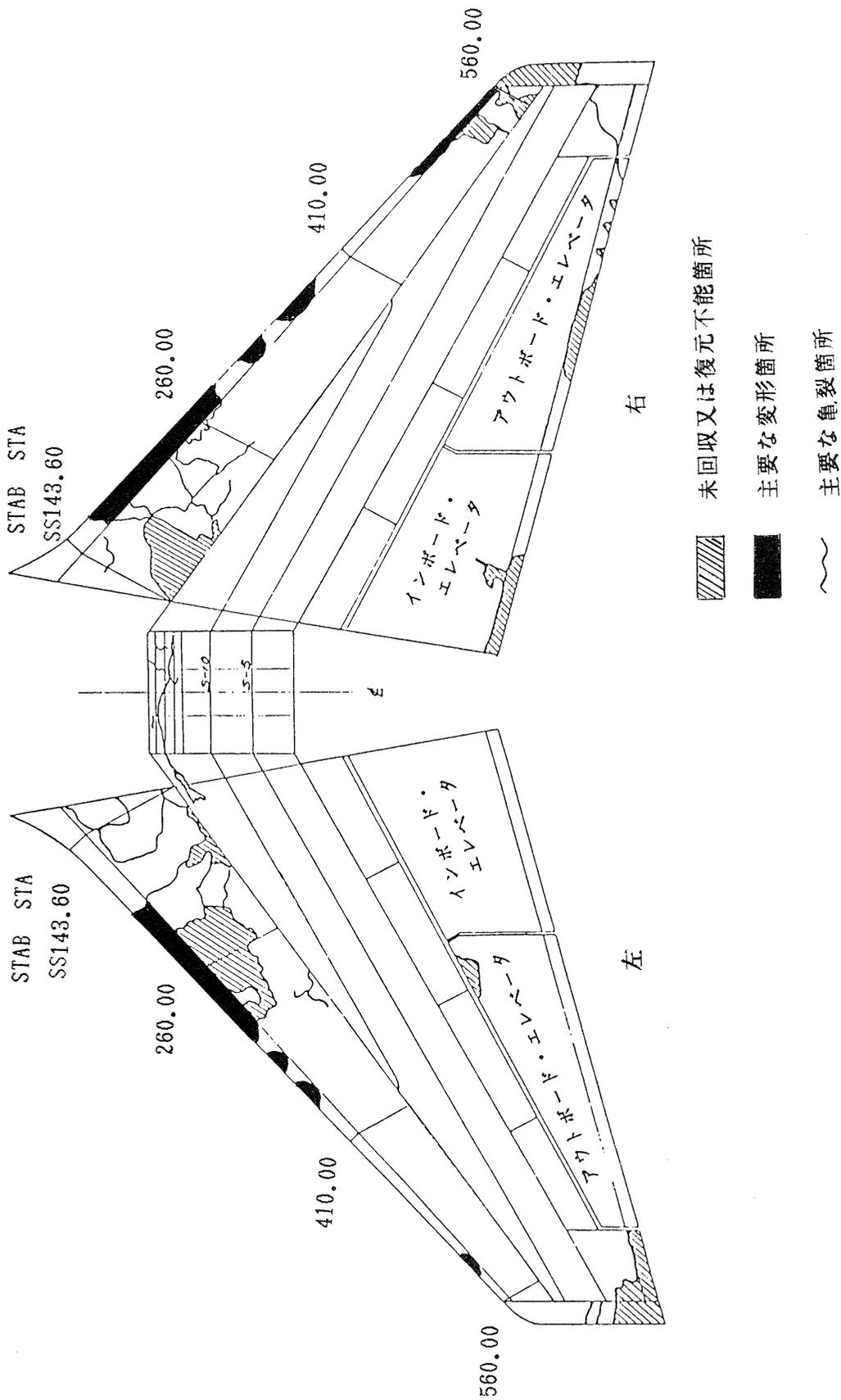
垂直尾翼損壊図(右側)
(右側)



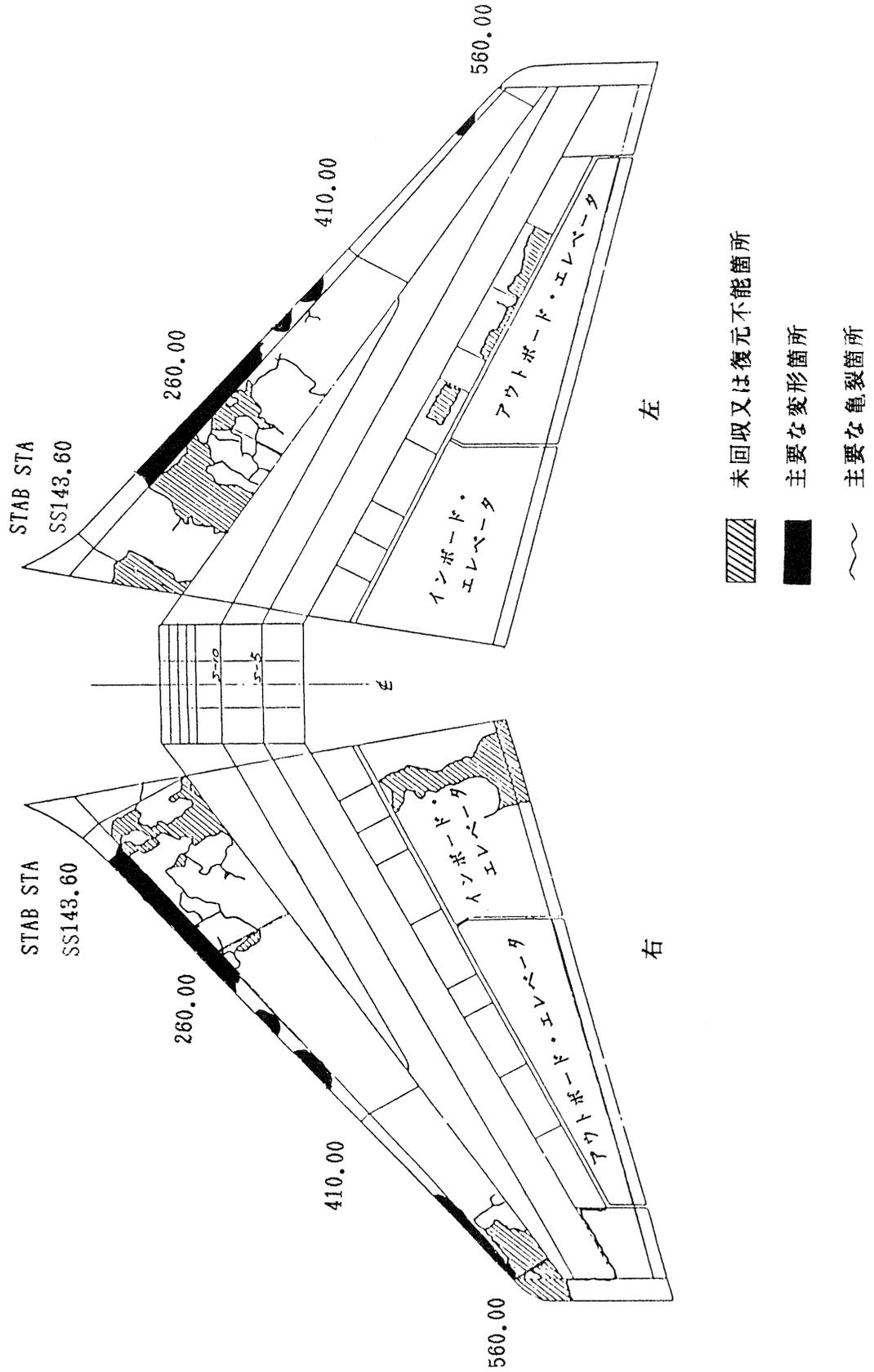
付図-29 墜落地点の手前から回収された右主翼の破片



付図-30 水平尾翼損壊図(上面)



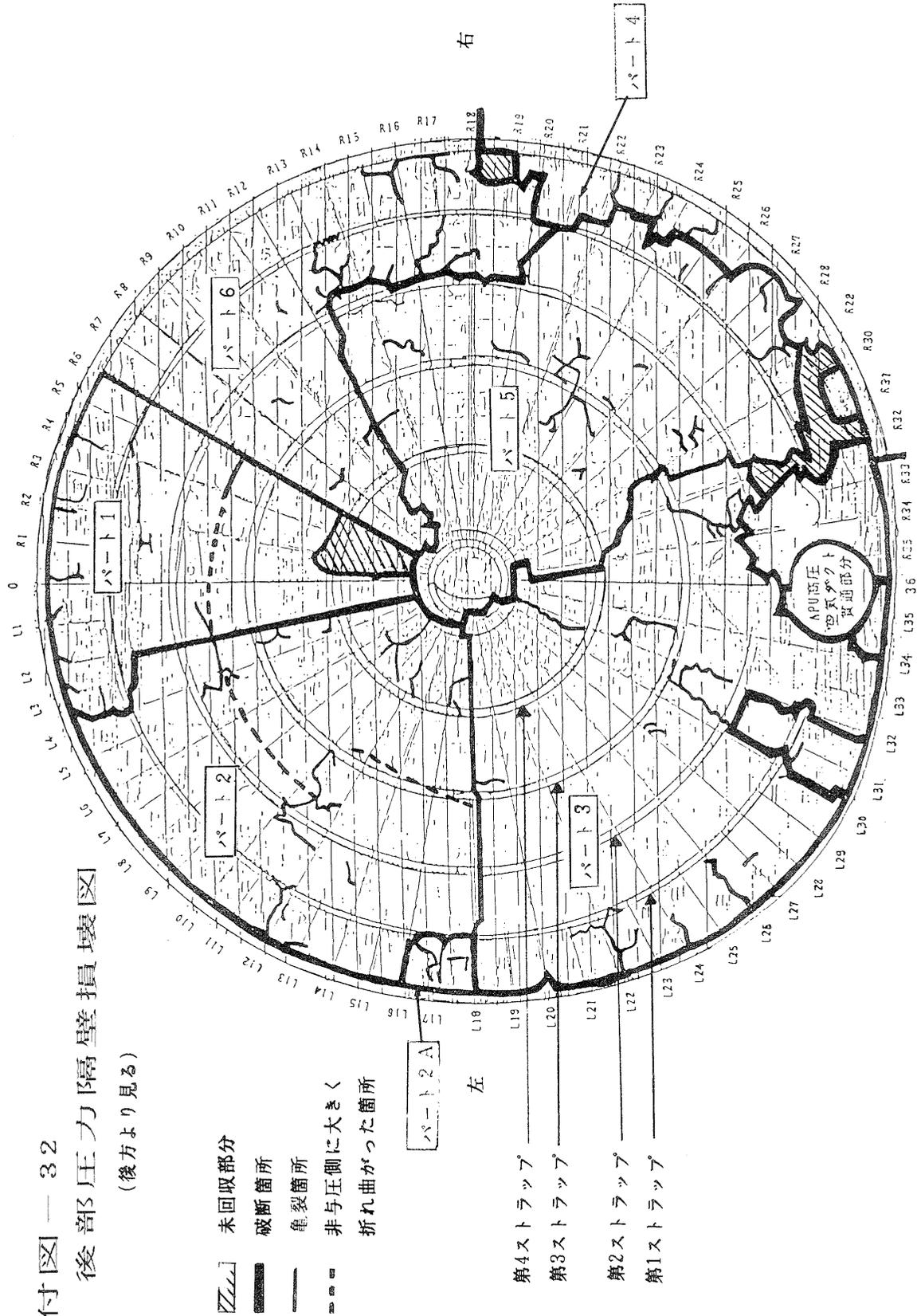
付図-31 水平尾翼損壊図(下面)



付図一 32

後部圧力隔壁損壊図

(後方より見る)



-  未回収部分
-  破断箇所
-  亀裂箇所
-  非与圧側が大きく折れ曲がった箇所